

- 問1 1871年に明治政府が行った、それまでの藩を廃止して府や県を置き、中央政府が任命した官吏を地方に派遣して統治を行うようにした制度改革を何といいますか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 王政復古の大号令                      2. 廃藩置県                      3. 地租改正                      4. 版籍奉還
- 
- 問2 明治政府は、近代産業を育成する手本とするため、富岡製糸場のように政府が直接運営する工場を全国各地に建設しました。このような工場の一般的な名称として正しいものはどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 官営模範工場                      2. 屯田兵村                      3. 寺子屋                      4. 藩校
- 
- 問3 岩倉具視や大久保利通らが全権大使として欧米を訪問した際、各国の制度や文化の視察とともに目指していた、外交上の最優先課題は何か。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. バリ講和会議への出席                      2. 沖縄の返還                      3. 日米和親条約の調印                      4. 不平等条約の改正
- 
- 問4 岩倉使節団が帰国した後、政府内では朝鮮への派兵を巡る「征韓論」が対立を深めたが、視察を終えた岩倉具視や大久保利通らが主張した考え方として適切なものはどれか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 日本はすでに欧米と同等の軍事力を備えているため、外交よりも武力行使を重視すべきである。                      2. 欧米諸国に対抗するため、即座に武力を用いて海外へ領土を広げるべきである。                      3. 欧米の国力と日本の現状の差を痛感したため、まずは国内の整備を優先すべきである。                      4. 欧米諸国がアジアへの進出を諦めていることを確認したため、軍備を縮小すべきである。
- 
- 問5 明治政府が建設した官営工場のうち、1872年に群馬県に設立され、フランスの技術や機械を導入して日本の生糸の品質向上と輸出拡大を支える模範となった施設として正しいものはどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 八幡製鉄所                      2. 長崎造船所                      3. 足尾銅山                      4. 富岡製糸場
- 
- 問6 明治新政府が中央集権国家を確立する過程で行った「版籍奉還」の目的と内容について、正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. すべての藩を完全に廃止して全国に県を置き、中央政府から官吏を派遣して地方行政を直接支配すること。                      2. 徴兵令を施行して国民から兵士を集めるために、全国の戸籍を整理し、土地の所有権と地価を確定させること。                      3. 藩主から土地と人民の支配権を天皇に返上させることで、旧来の封建的な支配体制を解体し、政府による全国統治の基盤を作ること。                      4. 将軍から政権を朝廷へ返上させることで、武士による政治を終わらせ、天皇を中心とする新しい政治体制を開始すること。
- 
- 問7 明治政府が長期にわたって取り組んだ「条約改正」の具体的な内容として、不適切なものはどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 他国の軍隊を日本国内に駐留させる権利を認め、日本独自の外交権をすべて欧米諸国に委ねる契約へと変更すること                      2. 外国人が日本で犯罪を犯した際、その国の領事が裁判を行う領事裁判権（治外法権）を撤廃すること                      3. 幕末に結ばれた不平等な条件を改め、欧米諸国と対等な立場での国際関係を築くこと                      4. 輸入品に対して日本側が自由に税率を決めることができない状態を解消し、関税自主権を回復すること
- 
- 問8 明治政府が行った地租改正の仕組みと、その際に発行された「地券」について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 地券を所有する農民に対し、従来の年貢と同様に、その年の収穫高に応じた量の米を納めさせた。                      2. すべての土地を国家のものとする公地公民の原則に基づき、地券を持つ者にのみ土地の利用を許可した。                      3. 土地の所有権を認める地券を交付し、収穫量ではなく地価を基準とした税を現金で納めさせた。                      4. 江戸時代の株仲間のような特権を与え、その見返りとして商人に地券を発行し運上金を徴収した。
- 
- 問9 1868年、明治新政府は新しい政治の基本方針を天皇が神に誓うという形式で発表しました。この方針の中で、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」として世論を尊重することや、「知識を世界に求め、大いに皇基を振起すべし」として開国和親の姿勢を示した文書を何といいますか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 版籍奉還                      2. 王政復古の大号令                      3. 政体書                      4. 五箇条の御誓文
- 
- 問10 1860年代の日本は激動の時代を迎え、薩長同盟の成立や大政奉還といった重要な出来事が相次ぎました。1868年1月、京都近郊において、政権を返上した徳川慶喜を支持する旧幕府軍と、薩摩・長州を中心とする新政府軍が武力衝突し、その後の戊辰戦争の幕開けとなった戦いを何といいますか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 禁門の変                      2. 鳥羽・伏見の戦い                      3. 薩英戦争                      4. 西南戦争
- 
- 問11 明治政府が地租改正において、税率を「収穫量」ではなく「地価（土地の価格）」に基づき、さらに「現金」で納めさせるようにした最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 農民の税負担を大幅に軽減し、農業の近代化を促進するため                      2. 天候による豊作や不作に左右されず、政府の収入を安定させるため                      3. 江戸時代から続く身分制度を維持し、武士の特権を守るため                      4. すべての土地を国有化し、政府が直接農業経営を行うため
- 
- 問12 地租改正の実施により、明治政府の財政運営はどのように変化しましたか。その仕組みの背景を含めて説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. 土地をすべて国有化し、国民から一律に地代を徴収することで、身分制度の解体を進めた。                      2. 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず予算の見通しが立てやすくなった。                      3. 収穫量に応じて税率を毎年変動させる仕組みを導入し、農民の負担を大幅に軽減させた。                      4. 小作人に土地を安く売り渡すことで、自作農を増やして農業生産力を高め、税収を倍増させた。
- 
- 問13 明治政府が廃藩置県などの改革を通じて、地方の権限を中央政府へ集中させた目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 欧米列強に対抗できる国力を養うため、軍事や徴税の仕組みを全国で一元化すること                      2. 地方ごとに独自の法律や通貨を認め、各地域の特色を活かした経済発展を促すこと                      3. 住民が選挙によって知事を選べるようにし、地方自治の仕組みを早期に確立すること                      4. 各地の旧藩主に引き続き地方統治を任せることで、新政府への反発を抑えること
- 
- 問14 1873年から明治政府が行った税制改革では、土地の所有権を認める「地券」を交付し、納税の方法を従来の「米」から「現金」へと変更しました。この改革の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 廃藩置県                      2. 版籍奉還                      3. 秩禄処分                      4. 地租改正